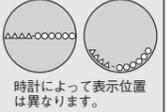


取扱説明書

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた <p>時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。図では「△△△△」が機種番号です。</p>	<刻印の位置の例>  <p>時計によって表示位置は異なります。</p>
--	---

安全上のご注意（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

仕 様

機種：	B872 / E068 / E168
型式：	アナログソーラーパワーウォッチ
水晶振動子：	32,768Hz
時間精度：	平均月差 ± 15 秒 <p>常温（+5℃～+35℃）携帯時</p>
動作温度：	−10℃～+60℃
表示機能：	3針（時、分、秒） <p>カレンダー（日）</p>
付加機能：	充電警告機能 <p>クイックスタート機能</p> <p>過充電防止機能</p> <p>時刻合わせ告知機能（B872のみ）</p>
持続時間：	充電完了後〜止まり：約6ヶ月 <p>2秒運針〜止まり：約3〜4日</p>
使用電池：	二次電池（ボタン型リチウム電池）1個
※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。	

商品の特長

この時計は、文字板面にソーラーセルが配置されていて、光エネルギーが電気エネルギーに交換されます。そのエネルギーを内蔵されている二次電池に蓄え、時計を駆動させるアナログソーラーパワーウォッチです。

ご使用になる前に

<保護シールについて> <p>時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。</p>
<バンド調整について> <p>お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。</p>

〈エコ・ドライブの上手な使い方〉
快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。（過充電防止機能つき）
毎日の充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

特殊な構造のりゅうずについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうず場合があります。

■ねじロックりゅうずの使い方
時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	 <p>りゅうずが飛び出ます。左に回す</p>	 <p>りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める</p>

二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されくと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。

二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。
- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

充電上の注意

充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
例）白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※白熱灯で充電するときは、必ず50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

時刻・カレンダー合わせ

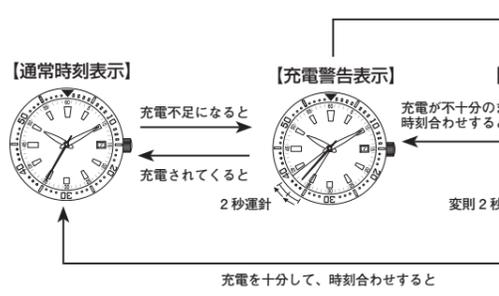
＜時刻の合わせ方＞

- 秒針が0秒位置になったときりゅうずを時刻修正位置②に引き出します。
- りゅうずを回して時刻を合わせます。
- 時報などに合わせてりゅうずをきちんと通常位置①に戻して、時刻合わせを終了します。

- ＜カレンダーの合わせ方＞
- りゅうずをカレンダー修正位置①に引き出します。
 - りゅうずを左に回して日を合わせます。
 - りゅうずを右に回すと空回りします。
 - りゅうずをきちんと通常位置①に戻して、カレンダー合わせを終了いたします
 - *時刻が午後9時～午前1時頃を示している間は、カレンダー修正を行わないでください。この間にカレンダー修正を行うと、カレンダーが正しく切り替わらないことがあります。
 - *日は午前0時頃に切り替わります。
 - *日は31日周期です。3月、5月、7月、10月、12月の月初めには日を修正してください。

エコ・ドライブ特有の機能について

この時計は、充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。



充電警告機能	クイックスタート機能	過充電防止機能
秒針が2秒運針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、2秒運針を始めてから約4日経過すると時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒運針に戻してください。	充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。（モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります。）ただし、この時に光をささげると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますので注意してください。	文字板（ソーラーセル面）に光が当たり、二次電池が充電完了になると、それ以上は充電されないように、自動的に過充電防止機能が働きます。そのため、どんなに充電しても時計が破損することはありませんので、安心して光を当て充電することができます。
時刻合わせ告知機能（B872のみ）		
秒針が変則2秒運針をして、時計が一度止まったことをお知らせします。		

外装機能の取り扱いについて

モデルによっては外装機能がついていないものもあります

＜回転ベゼルの使い方＞
潜水時の経過時間または決められた時間に対しての残りの時間の目安に利用できます。
*回転ベゼルは、水中にもぐった場合などの安全を考慮し逆転防止（左回り専用）つきとなっております。

- 経過時間の測定**
回転ベゼルの▼印を分針に合わせてください。ある時間経過後回転ベゼルの目盛りによって経過時間がわかります。

- 残り時間の測定**
回転ベゼルの▼印を目標時刻に合わせておくと残り時間がわかります。

充電時間の目安表

環 境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	2～3分	18～36分	9～12時間
屋外（曇天）	10,000	10～12分	2～3時間	33～45時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	30～40分	7～8時間	105～150時間
屋内照明	500	3～4時間	44～60時間	—

※連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

200m 防水時計（スキューバ潜水用）について

特長
逆転防止機能つき回転ベゼル <p>潜水時間のチェックに重要な回転ベゼルスは逆転防止機能つきとなっております。</p>
警告 防水性能について

- この時計はスキューバ潜水用防水時計（200m 防水時計）です。空気ポンペを使用したスキューバ潜水には使用できませんが、ヘリウムガスを使用する飽和潜水などは絶対に使用しないでください。
- 防水性維持**
 - 防水性能を保つために2～3年毎にお買い上げ店を通してまたは、直接弊社お問い合わせ窓口で点検（有償）をお受けになり、必要に応じてバックキン・ガラス・りゅうず等の交換を行ってください。
 - りゅうずはきちんと押し込んでご使用ください。

表示	使用例							
文字板	文字板または裏ぶた	仕様						
(AIR) DIVER'S 200m	WATER RESIST (ANT)	200m防水	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

注意 ダイビングにおける注意

【ダイビングの前には】
・りゅうずがきちんと押し込まれ、りゅうずがしっかりネジロックされているか確認してください。
・バンドが暗指本体にしっかり固定されているか確認してください。バンドやガラスにヒビ、傷、カケなどの異常がないか確認してください。
・回転ベゼルが正常に回転するか確認してください。時刻が正しくセットされているか確認してください。秒針が正しく動いているか確認してください。

【ダイビング中は】
・水中でのりゅうず操作は絶対しないでください。防水不良などの故障の原因になります。
・ダイビングの器材や岩など固いものにぶつけたりしないように注意してください。

【ダイビング後には】
・時計に付着した海水や泥、砂などは、りゅうずがねじロックされていることを確認の上、真水で良く洗い落とし、次に乾いた布などで水分を拭き取ってください。

禁止 ダイビングでの使用禁止事項

次のようなときは、ダイビングにこの時計を使用しないでください。
・充電警告機能が作動しているとき。充電不足になると秒針が2秒間隔で動きます。（光に当てて充電し1秒運針に戻してください）
・時計が止まったり異常が生じたとき。

注意 ダイビングへの使用にあたって

- ダイバズウォッチのご使用にあたっては、必ず各種のダイビングに関する教育やトレーニングを受け、それにしがったルールを守ってご使用ください。
- 時計の取り扱いと注意事項を充分に理解して、正しくご使用ください。万一この取扱説明書にない取扱いは、時計が正しく機能しない場合がありますのでご注意ください。

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがあります。肌荒れなどにご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に濡したときは、真水で洗い乾いた布で良くふくこと。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接合はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染液や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- 以下の場合も、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき

保証とアフターサービス

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用品品の保有期間について＞

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境がこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によるご初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご購入・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご購入されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合は、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

- 防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、バックキンなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除（内装修理）について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してしまっていますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

夜光付き時計の場合は <p>時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。 <ul style="list-style-type: none">蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。</p>
